

令和3年度 現地検討会実施状況

(技術の普及)

8

国有林	73
都道府県	19
市町村	24
森林組合	4
林業事業者 (森林組合を除く)	2
研究機関	12
その他	0
合計	134

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
着果調査	6月15日	上川中部森林管理署	上川町 (国有林)	国有林 4名	林木育種場による採種園 (アカエゾ) の着果状況調査をかねて勉強会を行い知識醸成のため。	清川採種園においてアカエゾの着果状況を林木育種場職員と共にグループごとに分けて調査と併せて勉強会を行った。	
				都道府県 名			
				市町村 2名			
				森林組合 名			
				林業事業者 (森林組合を除く) 名			
				研究機関 4名			
				その他 名			
				合計 10名			
着果調査	6月15日	上川中部森林管理署	旭川市 (国有林)	国有林 2名	林木育種場による採種園 (トドマツ・カラマツ) の着果状況調査をかねて勉強会を行い知識醸成のため。	雨紛採種園においてトドマツ・カラマツの着果状況を林木育種場職員と共にグループごとに別れて調査と併せて勉強会を行った。	
				都道府県 名			
				市町村 2名			
				森林組合 名			
				林業事業者 (森林組合を除く) 名			
				研究機関 4名			
				その他 名			
				合計 8名			

令和3年度 現地検討会実施状況

(技術の普及)

樹種判別学習会	8月3日	網走中部森林管理署 協力：常呂川森林ふれあい推進センター	北見市国有林2287林班	国有林	21名	若手職員の能力向上の一環として、各種森林調査に必要な樹種について、樹木の樹皮や葉の特徴等から判別する能力を身につける。	当日は4班に分かれて森の家周辺の特設コース上にある43種類の樹種について樹皮や葉の特徴等の説明を行った後、20種類の樹名問題の試験を行った。 参加者からは「樹種を勉強する機会がなく大変よかった」との意見があった。 今後は、製品生産工場での材の樹種判別と冬芽の観察等を行って、若手職員の能力向上を行っていく予定である。	
				都道府県	名			
				市町村	4名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	25名			
トドマツ人工林主伐後の天然更新補助作業試験地説明会	9月17日	上川南部森林管理署、 森林技術・支援センター	南富良野町 (幾寅国有林3林班)	国有林	13名	低コスト再造林を目指した天然更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成27年にトドマツ人工林を40m幅で帯状伐採（地がき、B層露出）</li> <li>●伐採後、トドの天然更新は少なく、「風散布型」（カンバ、ヤナギ、タモなど）と「遷移初期種」（キハダなど）が優占。特にカンバ類は高い密度で発生し、更新有望</li> <li>●草本等による被圧が進んでいることから、稚樹から萌芽を促進する取組を進めている</li> <li>●昨年説明会を開催したカラマツの天然更新試験地の1年後の状況について</li> </ul>	
				都道府県	3名			
				市町村	5名			
				森林組合	3名			
				林業事業体（森林組合を除く）	1名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	25名			
								天然更新補助作業プロットにて意見交換

令和3年度 現地検討会実施状況

(技術の普及)

<p>国有林生産請負事業現場勉強会</p>	<p>10月21日</p>	<p>占冠村・上川南部森林管理署 共催</p>	<p>南富良野町 (幾寅国有林116林班)</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>4名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>3名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>1名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>1名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>9名</td></tr> </table>	国有林	4名	都道府県	名	市町村	3名	森林組合	1名	林業事業体(森林組合を除く)	1名	研究機関	名	その他	名	合計	9名	<p>高性能林業機械を活用した製品生産事業を見学することにより、高効率で低コストな機械の組合せを学習する。</p> <p>将来的に国有林の事業を請け負うことができる知識と技術を習得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●占冠村内の森林施業プランナーの資格を持つ2名を対象に、南富良野町内で実行中だった現場にて開催。</li> <li>●製品生産事業の現場作業を見学しながら、署や村の担当者から安全で効率的な作業の仕組みやルールについて説明した。</li> <li>●高性能林業機械が安全に走行できる路網(傾斜や幅員等)、伐採列の方向、小班の法規制などについて、事業内訳書や特記仕様書などを用いて説明した。</li> </ul>	 <p>列状伐採箇所と森林作業道を見ながら国有林の事業を説明</p>
国有林	4名																						
都道府県	名																						
市町村	3名																						
森林組合	1名																						
林業事業体(森林組合を除く)	1名																						
研究機関	名																						
その他	名																						
合計	9名																						
<p>「スマート林業の実現に向けたICTの活用法」に関する研修会</p>	<p>11月18日</p>	<p>胆振総合振興局森林室</p>	<p>和みの森</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>6名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>16名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>5名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>27名</td></tr> </table>	国有林	6名	都道府県	16名	市町村	5名	森林組合	名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	名	その他	名	合計	27名	<p>市町村職員を主たる対象にドローンの操作実技を行わない慣れをもらう。</p>	<p>市町村職員及び道職員を対象に、スマート林業の実現に向けたICTの活用を進めるため、ドローンの操作方法の初歩から実践を行った。</p>	
国有林	6名																						
都道府県	16名																						
市町村	5名																						
森林組合	名																						
林業事業体(森林組合を除く)	名																						
研究機関	名																						
その他	名																						
合計	27名																						
<p>人工林主伐後の天然更新試験地及び天然更新補助作業試験地の現地説明</p>	<p>11月18日</p>	<p>上川南部森林管理署</p>	<p>南富良野町 (幾寅国有林3.116林班)</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>10名</td></tr> <tr><td>都道府県</td><td>名</td></tr> <tr><td>市町村</td><td>名</td></tr> <tr><td>森林組合</td><td>名</td></tr> <tr><td>林業事業体(森林組合を除く)</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>4名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>14名</td></tr> </table>	国有林	10名	都道府県	名	市町村	名	森林組合	名	林業事業体(森林組合を除く)	名	研究機関	4名	その他	名	合計	14名	<p>低コスト再造林を目指した天然更新</p> <p>(空知森林管理署北空知支署と北海道大学雨龍研究林では、カラマツ天然更新やカンバ類の保育作業に今後取り組む予定であるが、順調な成果の出ている先事例を見学するため当署試験地を訪問)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●空知森林管理署北空知支署と北海道大学雨龍研究林は「掻き起こし」後の「表土戻し」など天然更新補助作業に連携して取り組んでおり、両機関が当署の試験地を訪問。</li> <li>●説明箇所・内容・資料は、R3年9月17日に開催した「トドマツ人工林主伐後の天然更新補助作業試験地説明会」(第2四半期報告済み)と同じで、更に10月に北斜面に設定したカラマツ天然更新試験地も当署職員が現地説明した。</li> </ul>	 <p>R3.10に北斜面に設定したカラマツ天然更新試験地を説明</p>
国有林	10名																						
都道府県	名																						
市町村	名																						
森林組合	名																						
林業事業体(森林組合を除く)	名																						
研究機関	4名																						
その他	名																						
合計	14名																						

令和3年度 現地検討会実施状況

(技術の普及)

ドローン講習会	11月25日	日高南部森林管理署	若園森林事務所1146林班	国有林	13名	国有林職員の操作技術向上・目視内自動航行についての勉強及び昨年同様の町への支援としてのドローン操作全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国有林職員へは、目視内自動航行の操作方法を中心に実技を実施。</li> <li>・町職員へは、ドローン飛行の注意点等を説明し、ドローン操作の実技を中心に実施した。町「ドローンがまだないので、大変ありがたい」などのお礼を頂いた。</li> </ul>	
				都道府県	名			
				市町村	3名			
				森林組合	名			
				林業事業体(森林組合を除く)	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	16名			

ドローンからの撮影の様子